高橋（たかはし）　修（おさむ）　議員

■花巻空港の新規路線の就航について

Q 青森、秋田、山形には羽田便があり、利便性が高まっている。当市も空港所在地として、声を上げるべきと考えるが、所見を伺う。

A 市として外国人観光客の誘客を増やすのであれば、羽田便や国際線就航空港との接続便の充実も必要だが、仙台空港から平泉などの観光地を見て、花巻温泉郷に宿泊していただき、北東北の広域観光の拠点としてＰＲすることが大事だと考えている。

■次期市長選挙について

Q 任期満了後の進退について伺う。

A 現在市政の諸課題について全力を尽くしている状況であり、現時点においては任期満了後について申し上げることはない。

■新図書館整備を駅前と決めた根拠について

本舘（もとだて）　憲一（けんいち）　議員

Q 「新図書館の立地場所は駅前のＪＲ所有地が最適」と判断した根拠を伺う。市民会議の結果でなく、市がどう考えたのか伺う。

A あらゆる市民が利用できる図書館にすることと駅前を含めた市街地の活性化を当初から考えていた。そのような効果を求めるために駅橋上化との連携を考えたことも事実だが、橋上化するために図書館を駅前に建てようとした事実は一切ない。

市民会議の結果を最大限尊重して駅前と決めた。全てを精査した上で、総合的に判断し、駅前に建設する結論に至った。

■教育委員会の新図書館基本計画立案への関わりについて

Q 基本計画案の表紙に教育委員会名が併記された。補助執行を生涯学習部に任せている教育委員会が立案にどのように関わってきたのかを伺う。

A 事務を補助執行している生涯学習部が教育委員会議や教育委員会協議会において、教育委員への数回の説明を行った上で意見を求めてきた。計画の内容のみならず、策定までの進め方に関しても意見を頂きながら検討や調整を加え、市民参画も行いながらこの度の基本計画に至った。

■旧総合花巻病院跡地の活用について

似内（にたない）　一弘（かずひろ）　議員

Q 旧総合花巻病院跡地の活用方針について伺う。

A 旧総合花巻病院跡地は北東側が急傾斜地崩壊危険区域等に重なり、利用可能な平坦部が限定される。安全対策と地盤条件を精査したうえで、子育て支援複合施設や産後ケア施設等の公共施設整備の可能性を含め、土地利用素案をまとめ次第、市民意見を聴取して活用方針を決定する予定である。

■スポーツ推進計画について

Q スポーツ推進計画の評価と次期計画策定方針について伺う。

A 現計画は新型コロナウイルス感染症の影響により、生涯スポーツ実施率・全国大会出場件数・大規模大会入込者数の三指標が目標に達していない状況である。次期計画は国の第３期スポーツ基本計画と整合を図り、部活動の地域移行やＤＸの活用など社会的課題への対応を盛り込む予定であり、令和７年９月までに素案を作成し、市民参画を経て令和８年３月までに策定する予定である。

次のページ　一般質問と答弁

阿部（あべ）　一男（かずお）　議員

■農業問題について

Q 米価の値上がりおよびコメ離れについて市はどう見ているか。

A 米が高すぎるという声はあるが、米価が安く、再生産が難しい状況が続いていたことから生産者の所得確保、食料自給の観点からは大事。国の備蓄米の放出により、米価が徐々に下がることを期待している。市では県の生産目安の範囲内における最大限の作付けとなるよう農業者にお願いするほか、輸入に頼ることなく国産米を供給できる取り組みを国に要望していく。

■障がい者福祉の充実について

Q ストーマ（※）用装具の災害に備えた保管事業およびオストメイト（※）の社会適応訓練事業に対する市の支援策を伺う。

A 市でも保管事業を実施したいと考えており、既に行っている自治体を参考とし、関係機関から助言をいただきながら実施に向けて進めていく。岩手県が日本オストミー協会に委託している社会適応訓練は、これまで実施してきたチラシ配布や市広報による周知のほか、来庁された対象者に個別に案内するなど情報提供していく。

照井（てるい）　明子（めいこ）　議員

■小規模校について

Q 花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針を優先とする取り組みになっていないか伺う。

A 「基本方針」は、学校統合ありきの実施計画ではなく、保護者や地域の方々に考えていただくための方針で、仮に、少子化による児童生徒の減少が見込まれ、将来の教育環境が危惧される場合であっても、保護者や地域の方々から理解が得られないまま学校統合を進めることはない。

■閑散期の観光支援について

Q 物価高騰等の影響による旅行控えが報じられている。総合計画にある「閑散期等における市内施設への誘客支援」の考えを伺う。

A 宿泊施設からは、本年１月から３月までの閑散期の実績は前年以上であること、宿泊単価が上がり売り上げが好調に推移していると聞いている。

花巻観光協会では、連泊割引や夏休みＰＲ、冬の割引券の提供等を今年度も実施する予定であるため、市として新たな宿泊割引は考えていない。

横田（よこた）　忍（しのぶ）　議員

■農業振興について

Q 令和７年産主食用米の生産目安について伺う。

A 生産目安の面積は６５６５haだが、本年３月時点の作付は６９８１haと超過した。

全国で生産目安を超えた作付けが行われると需給バランスが崩れ米価が下落することが危惧される。市としては需給調整と米価の安定を図ることが重要と考えており、生産目安を守るよう周知することと、国に備蓄米を活用して米価を安定させるよう要望していく。

■公共施設マネジメント計画について

Q 施設カルテ調査シートの利活用について伺う。

A 公共施設の維持管理・修繕・更新等に係る中長期的にわたる建物や設備等の修繕等のサイクルを把握し、計画的な修繕等の予算編成に活用している。

人口減少や少子高齢化は、今後さらに進んでいくことが想定され、社会構造の変化は公共施設の利用需要の変化をもたらす。将来を見据え、より中長期的な財政運営を意識し、効率的な公共施設マネジメントに努める。

※ストーマ：手術によって体外に作られた便や尿の排泄口のこと。

※オストメイト：ストーマを造設した人